

「茨城県潮来市および神栖市における微動探査調査」

REIC では、(独)防災科学技術研究所の委託を受け、今回の大震災で甚大な液状化被害を受けた地域の中で、茨城県潮来市および神栖市において微動探査の調査を行いました。調査結果は将来、液状化対策の為の基礎資料として活用されることになっています。

調査日(撮影日):平成23年10月19日(水)

調査地:茨城県潮来市および神栖市

調査員:松田、大園

感想(松田):今回の微動探査では、潮来市で120点、神栖市で80点観測を行いました。観測中、多くの住民の方に声を掛けられましたが、一番多かったのが「放射線を測っているの?」というものでした。一般の住民の方々が如何に心配しているかを肌で感じました。放射線ではなく、地面の揺れを測定しているのですよ、と説明すると皆安心したような表情となります。さらに、自分の家が被災した方とか、近所の被害の状況とか皆さん饒舌にお話になります。1点の測定に多少時間が掛かる点を除けば、色々と貴重なお話を伺える良い機会となりました(中には戦争中の話もありました!)ご協力頂いた皆様、本当に有難うございました。

